

タイムスタディ関係資料

平成20年度社会的養護における施設ケアに関する 実態調査(タイムスタディ調査)概況

1. タイムスタディ調査について

①調査対象施設数

- 児童養護施設 21か所
- 乳児院 4か所(平成19年度調査と合わせて6か所)
- 情緒障害児短期治療施設 3か所
- 児童自立支援施設 2か所
- 母子生活支援施設 4か所

②調査対象施設の選定条件等

調査対象施設の選定については、施設種別ごとに職員配置等の条件で抽出を行ったリストの中から、各施設協議会より推薦を受けた施設のうち、調査の協力が得られた施設とした。

○児童養護施設

職員配置等	ケア形態	対象ケア単位数	対象施設数	総児童数
手厚い配置	大舎	1ケア単位 ※	11か所	198人
	小舎・小規模	2ケア単位	7か所	113人
平均的な配置	大舎・中舎	1ケア単位 ※	3か所	52人
計			21か所	361人

○乳児院

職員配置等	ケア形態	対象ケア単位数	対象施設数	総児童数
手厚い配置	小舎・小規模	2ケア単位	2か所	24人
	小舎・小規模以外	1ケア単位	2か所	31人
計			4か所	55人

○情緒障害児短期治療施設

職員配置等	ケア形態	対象ケア単位数	対象施設数	総児童数
入所率高い(80%以上)	大舎	1ケア単位 ※	1か所	9人
手厚い配置	小舎・小規模	2ケア単位	2か所	29人
計			3か所	38人

○児童自立支援施設

職員配置等	ケア形態	対象ケア単位数	対象施設数	総児童数
入所率高い(60%以上)	夫婦制	1ケア単位	1か所	12人
手厚い配置	交代制	1ケア単位(寮舎)	1か所	12人
計			2か所	24人

○母子生活支援施設

職員配置等	ケア形態	対象ケア単位数	対象施設数	世帯数	総児童数
入所率高い(70%以上)	本園のみ	入所世帯すべて	2か所	38世帯	71人
手厚い配置	本園及び 小規模分園	入所世帯すべて	2か所	74世帯	135人
計			4か所	112世帯	206人

※ 大舎の場合は、子どもの生活の単位では計測が難しいことから、ケアを行う職員・対象児童のグループ(ケア単位)を特定し、その単位を調査対象とした。

③調査の概要

本調査は、「施設職員の業務量調査(1分間タイムスタディ調査)」と「入所児童の状態調査(アセスメント調査・突発事象等調査)」の二つの調査により構成される。

1)施設職員の業務量調査(1分間タイムスタディ調査)

・入所児童に対し、どのようなケアを、どのくらい(時間)、施設職員が提供しているのかを数量的に把握する目的で実施する調査。

・調査は、児童を日常的にケアする職員が行う2日間タイムスタディ調査(他計式)と、児童を日常的にケアする職員以外が行う7日間タイムスタディ調査(自計式)の二つを実施。

2)入所児童の状態調査(アセスメント調査・突発事象等調査)

・入所児童一人ひとりの心身の状態や突発事象等を把握する目的で実施する調査。

・調査は、調査対象とする児童一人ひとりに対して行うアセスメント調査と、突発事象等調査の二つを実施。

2. グループインタビューについて

①グループインタビューの内容と目的

・タイムスタディ調査の実施後に、調査時に、調査対象施設において調査員となっており、日常的に児童への直接的なケアに従事している職員を対象とし、調査当時の児童の状態とケア時間・内容についてのグループインタビュー調査を実施。

・グループインタビューの目的は、児童の臨床像とケア時間の多寡との関連性をグループインタビューを通じて明確にすることである。

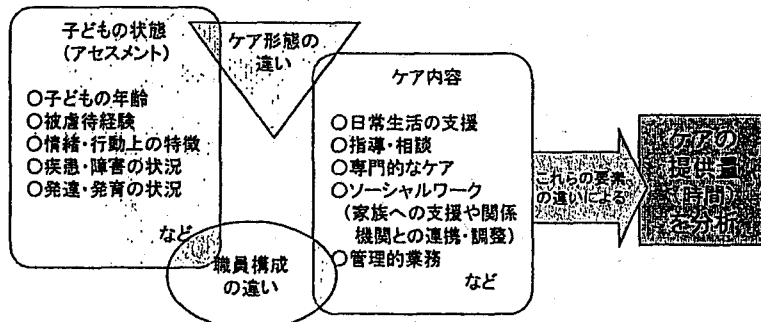
タイムスタディについて

タイムスタディとは?

～ケアを提供している現場で、「どういう職員」が、「どのような子どもに」、「どのようなケアを」「どのくらい(時間)」提供しているのかを明らかにすることを目的とした方法

平成20年度社会的養護における施設ケアに関する実態調査(タイムスタディ調査)では、

- 「子どもの状態」の違いによるケア内容別ケア時間の差、傾向
 - 「職員構成」の違いによるケア内容別ケア時間の差、傾向
 - 「ケア形態」の違いによるケア内容別ケア時間の差、傾向
- などについて分析



タイムスタディ調査結果分析の視点

タイムスタディ調査を通じて、社会的養護施設における現状のケアの提供量(×子どもの年齢・状態)について、定量的な把握を行う

平成19年度
実態調査結果

子どもの年齢や状態に応じた
適切なケアの提供量を分析・検討

その他の
調査・研究

現状の要保護児童にとって
適切な施設類型のあり方の見直し

人員配置基準の引き上げや
措置費の算定基準等の見直しを
含めたケアの改善

今回の集計項目(ポイント)

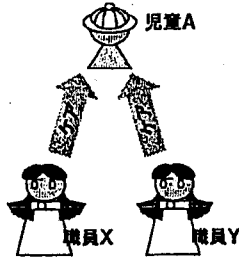
- ④ 子どもの状態の違い・家庭状況の違いによる子ども一人あたりケアの提供量の比較(施設種別ごと)
 - ・子どもの状況:年齢、性別、入所期間、発達状態、情緒・行動上の特徴、被虐待体験の有無、障害の有無 等
 - ・家庭状況:保護者の状況、家庭復帰の見通しや家族への支援状況 等
- ④ 各施設種別による子ども一人あたりケアの提供量の比較
 - ・ケア時間平均
 - ・時間階級区分別児童数
 - ・ケア時間業務分類別
 - ・ケア時間時間帯別 等
- ④ ケア形態、職員配置の手厚さ別による子ども一人あたりケアの提供量の比較
 - ・ケア時間平均
 - ・時間階級区分別児童数
 - ・ケア時間業務分類別
 - ・ケア時間時間帯別 等

※ ケアの負担感(身体的負担感・精神的負担感)については、集計中

タイムスタディ調査における子ども一人あたりのケア時間(1)

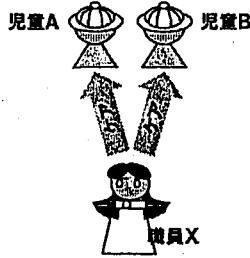
■ ケアの方法と子ども一人あたりケア時間算出方法

児童に複数の職員が同時にケアを行った場合



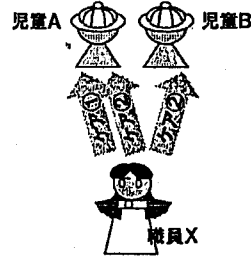
児童Aの一人あたりケア時間
= 児童Aに対する職員Xのケア時間
+ 児童Aに対する職員Yのケア時間

複数の児童に職員が同時にケアを行った場合



児童Aの一人あたりケア時間
= 同時に行った職員Xのケア時間
÷ 2 (児童数)

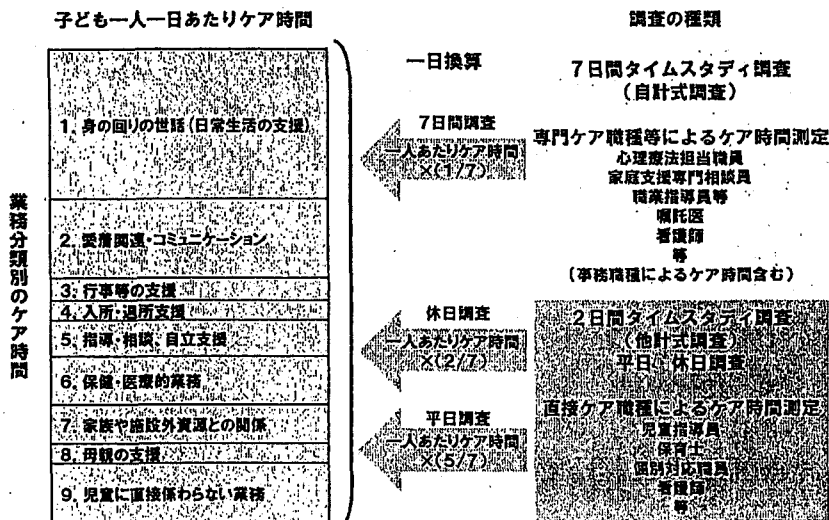
異なる複数のケアを複数の児童に職員が同時にケアを行った場合



児童Aの一人あたりケア時間
= 児童Aに対するケア①のケア時間
[職員Xのケア時間 ÷ 2 (ケア種)]
+ 児童Aに対するケア②のケア時間
[職員Xのケア時間 ÷ 2 (ケア種) ÷ 2 (児童)]

タイムスタディ調査における子ども一人あたりのケア時間(2)

■ 調査の種類と子ども一人一日あたりケア時間算出方法



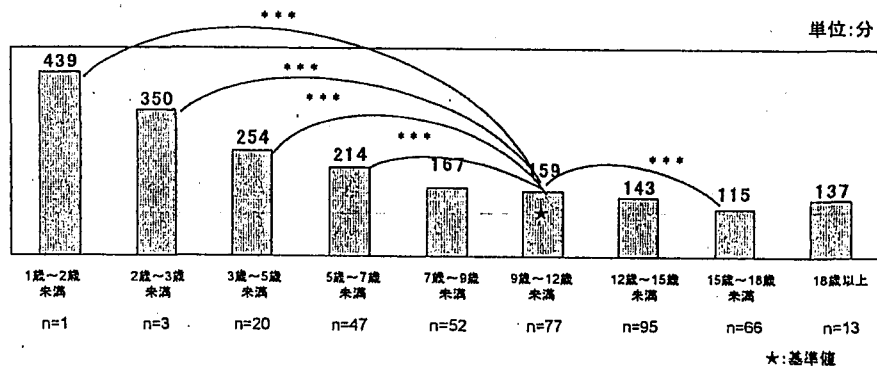
タイムスタディ調査結果(ポイント)

- ＊ 現時点で集計できたタイムスタディ集計結果について、子どもの状態別に、子ども一人あたり総ケア時間／日について、基準値と比べ、統計的に有意差のみられた結果(2集団間に差があるかないかについて、平均値の差の検定(t検定)を用いて統計処理を実施)及び施設種別ごとの概況について、グラフで表記

【子どもの状態等編】結果(養護)①

表P1

年齢別子ども一人あたりケア時間／日(児童養護施設)



・年齢が高くなるにつれて、子ども一人あたりケア時間が短くなっているが、「18歳以上」でのみ「15歳～18歳未満」より長くなっている。

※「1歳～2歳未満」、「2歳～3歳未満」、「3歳～5歳未満」、「5歳～7歳未満」の方が、「9歳～12歳未満」に比べ、子ども一人あたりケア時間が長くなっている(1パーセント水準で有意)。

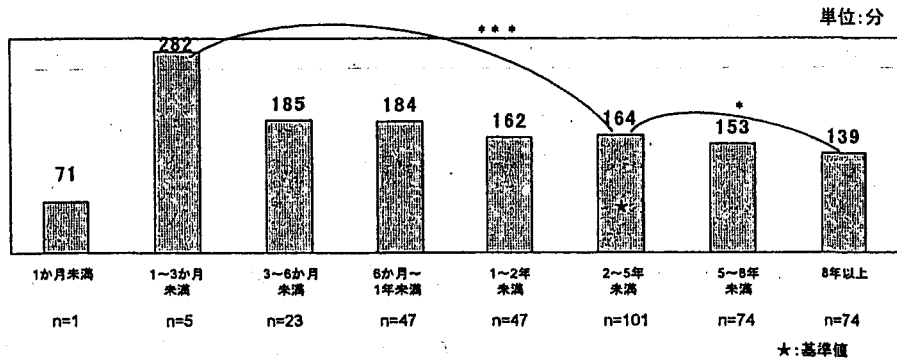
※「15歳～18歳未満」の方が、「9歳～12歳未満」に比べ、ケア時間が短くなっている(1パーセント水準で有意)。

*** ~ 1%水準で有意

【子どもの状態等編】結果(養護)②

表P3

入所期間別子ども一人あたりケア時間／日(児童養護施設)



・「1か月未満(n=1)」を除き、入所期間が短いほど(入所後間もないほど)、ケア時間が長い傾向にある。

※入所期間が「1~3か月未満」の方が、「2~5年未満」に比べ、子ども一人あたりケア時間が長くなっている(1%水準で有意)。

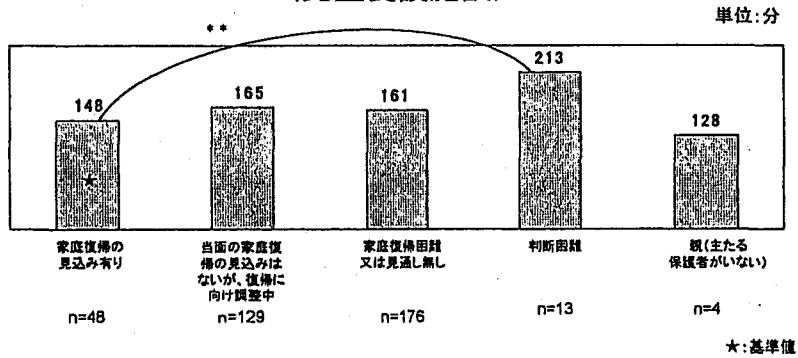
※「8年以上」の方が、「2~5年未満」に比べ、子ども一人あたりケア時間が短くなっている(10%水準で有意傾向)。

*** ~ 1%水準で有意 * ~10%水準で有意傾向

【子どもの状態等編】結果(養護)③

表P4

家庭復帰の見通し状況別子ども一人あたりケア時間／日(児童養護施設)



※「判断困難」の方が、「家庭復帰の見込み有り」に比べ、子ども一人あたりケア時間が長くなっている(5%水準で有意)。

** ~ 5%水準で有意

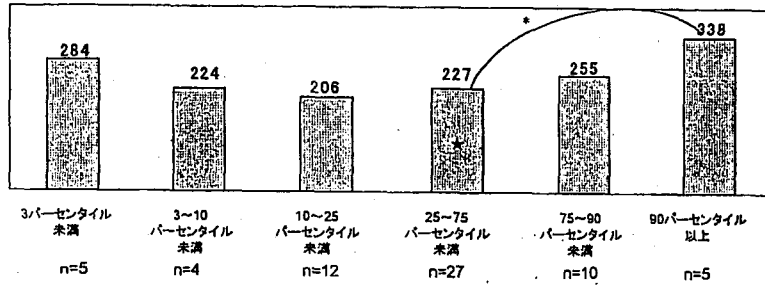
【子どもの状態等編】結果(養護)④

表P7

身体、発育の状態別(体重)子ども一人あたりケア時間/日
(児童養護施設)

※就学前児童のみ

単位:分



★:基準値

※体重が、「90パーセンタイル以上(とても多い)」の方が、「25~75パーセンタイル(標準範囲)」に比べ、子ども一人あたりケア時間が長くなっている(10%水準で有意傾向)。

◆乳幼児身体発育曲線による分類(体重)

3パーセンタイル未満	~ かなり少ない
3~10パーセンタイル未満	~ とても少ない
10~25パーセンタイル未満	~ やや少ない
25~75パーセンタイル未満	~ 標準範囲
75~90パーセンタイル未満	~ やや多い
90パーセンタイル以上	~ とても多い

* ~10%水準で有意傾向

【子どもの状態等編】結果(養護)⑤

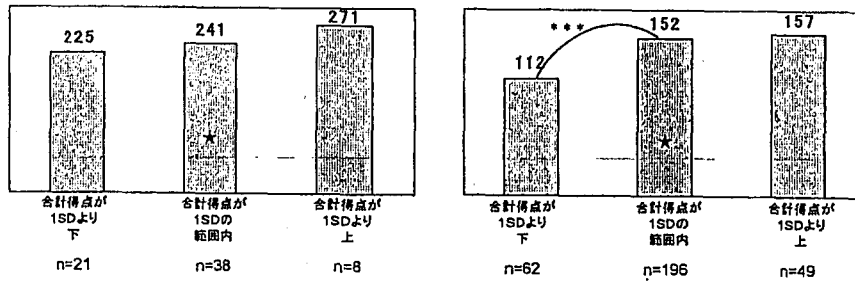
表P11

情緒・行動上の特徴のレベル別子ども一人あたりケア時間/日
(児童養護施設)

就学前児童

就学後児童

単位:分



★:基準値

・情緒・行動上の特徴の合計点数が少ないほど、子ども一人あたりケア時間が短くなっている。
※就学後児童では、「1SDより下」の方が、「1SDの範囲内」に比べ、子ども一人あたりケア時間が短くなっている(1%水準で有意)。

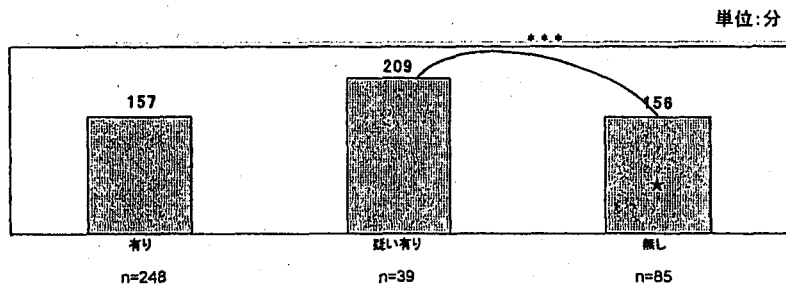
合計得点が1SDより下	~ 標準より情緒・行動上の問題が少ない
合計得点が1SDの範囲内	~ 標準範囲
合計得点が1SDより上	~ 標準より情緒・行動上の問題が多い

*** ~ 1%水準で有意

【子どもの状態等編】結果(養護)⑥

表P12

被虐待体験の有無別子ども一人あたりケア時間/日
(児童養護施設)



★:基準値

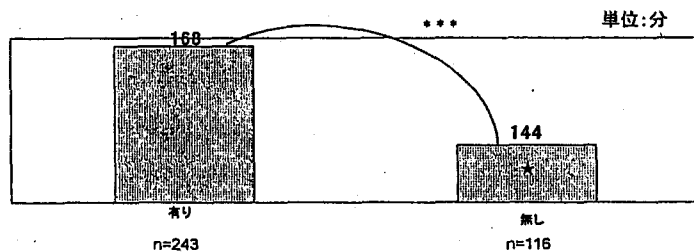
※被虐待体験「疑いあり」の方が、「無し」に比べ、子ども一人あたりケア時間が長くなっている(1%水準で有意)。

*** ~ 1%水準で有意

【子どもの状態等編】結果(養護)⑦

表P13

家族への支援の有無別子ども一人あたりケア時間/日
(児童養護施設)



★:基準値

・家族への支援「有り」の方が、子ども一人あたりケア時間が長くなっている。

※家族への支援「有り」の方が、「無し」に比べ、子ども一人あたりケア時間が長くなっている(1%水準で有意)。

○家族への支援の有無

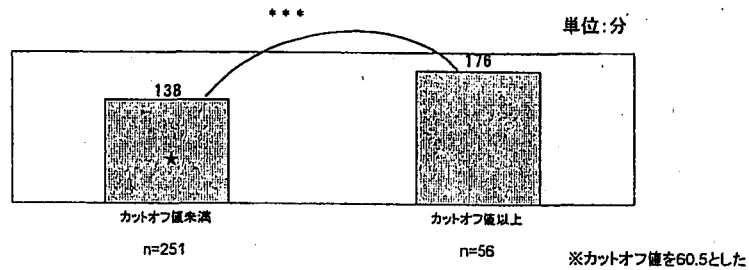
当該児童の家族等に対する面接や家庭訪問など継続的な家族支援の有無

*** ~ 1%水準で有意

【子どもの状態等編】結果(養護)⑧

表P14

「不適切な養育を受けた子どもの行動チェックリスト(就学後児童)」
の評価レベル別子ども一人あたりケア時間/日(児童養護施設)



・専門的なケアを要する状態にある方が、子ども一人あたりケア時間が長くなっている。
※「 cutoff値以上」の方が、「 cutoff値未満」に比べ、子ども一人あたりケア時間が長くなっている
(1%水準で有意)。

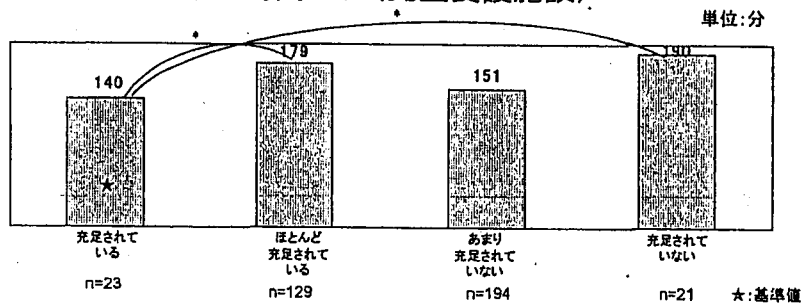
cutoff値 ~ 専門的なケアを要するかどうかの基準値
 cutoff値以上 ~ 専門的なケアを要する状態

*** ~ 1%水準で有意

【子どもの状態等編】結果(養護)⑨

表P15

ケアニーズの充足状況に関する評価別子ども一人あたり
ケア時間/日(児童養護施設)



※ケアニーズが「ほとんど充足されている」の方が、「充足されている」に比べ、子ども一人あたりケア時間が長くなっている(10%水準で有意傾向)。
※ケアニーズが「充足されていない」の方が、「充足されている」に比べ、子ども一人あたりケア時間が長くなっている(10%水準で有意傾向)。

○ケアニーズの充足状況

当該児童のケアニーズがどの程度充足されているのかについて、現状の職員数、施設状況等といったサービス提供体制上の制約がないものと仮定して施設職員が評価するもの

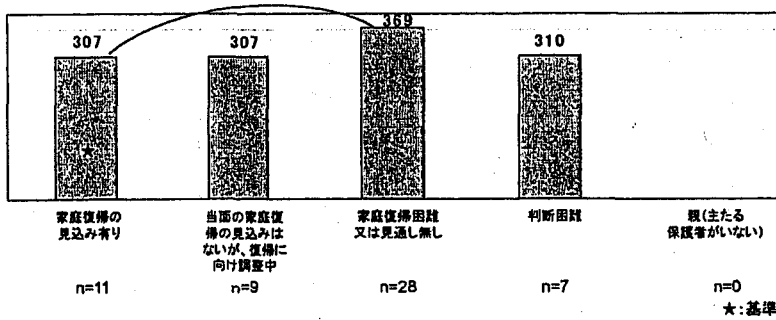
* ~ 10%水準で有意傾向

【子どもの状態等編】結果(乳児)①

表P20

家庭復帰の見通し状況別子ども一人あたりケア時間/日
(乳児院)

単位:分



・「家庭復帰困難又は見通し無し」が、子ども一人あたりケア時間が最も長くなっている。
 ※「家庭復帰困難又は見通し無し」の方が、「家庭復帰の見込み有り」に比べ、子ども一人あたりケア時間が長くなっている(10%水準で有意傾向)。

* ~10%水準で有意傾向

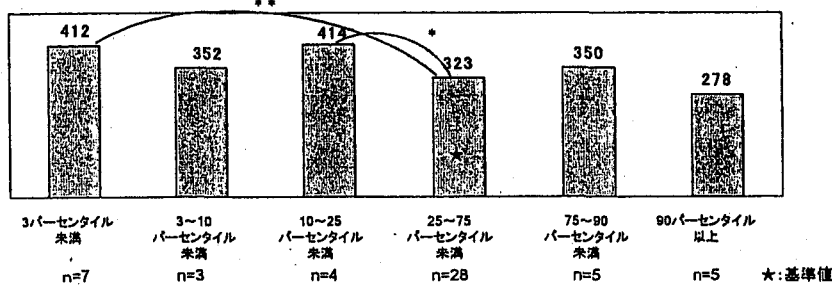
【子どもの状態等編】結果(乳児)②

表P22

出生時体重別子ども一人あたりケア時間/日
(乳児院)

※就学前児童のみ

単位:分



・出生時体重が標準範囲より少ない方が、子ども一人あたりケア時間が長くなっている。
 ※出生時体重が、「3パーセンタイル未満(かなり少ない)」の方が、「25~75パーセンタイル(標準範囲)」に比べ、子ども一人あたりケア時間が長くなっている(5%水準で有意)。
 ※「10~25パーセンタイル未満(やや少ない)」の方が、「25~75パーセンタイル(標準範囲)」に比べ、子ども一人あたりケア時間が長くなっている(10%水準で有意傾向)。

◆乳幼児身体発育曲線による分類
 3パーセンタイル未満 ~ かなり少ない
 3~10パーセンタイル未満 ~ とても少ない
 10~25パーセンタイル未満 ~ やや少ない
 25~75パーセンタイル未満 ~ 標準範囲
 75~90パーセンタイル未満 ~ やや多い
 90パーセンタイル以上 ~ とても多い

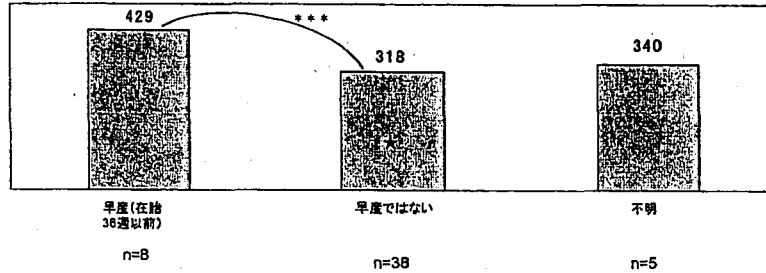
** ~ 5%水準で有意 * ~10%水準で有意傾向

【子どもの状態等編】結果(乳児)③

表P23

早産(在胎36週未満)の有無別
子ども一人あたりケア時間/日(乳児院)

単位:分



★:基準値

- ・「早産(在胎36週未満)」の方が、子ども一人あたりケア時間が長くなっている。
- ※「早産(在胎36週未満)」の方が、「早産ではない」に比べ、子ども一人あたりケア時間が長くなっている(1%水準で有意)。

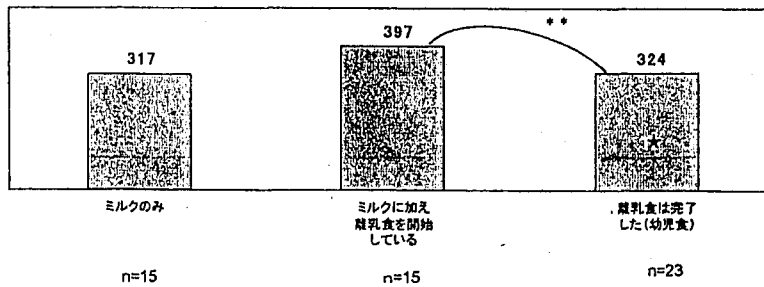
*** ~ 1%水準で有意

【子どもの状態等編】結果(乳児)④

表P25

哺乳・離乳食等の形態別子ども一人あたりケア時間/日
(乳児院)

単位:分



★:基準値

- ・哺乳・離乳食等の形態が、「ミルクに加え離乳食を開始している」が、子ども一人あたりケア時間が最も長くなっている。
- ※哺乳・離乳食の形態が、「ミルクに加え離乳食を開始している」の方が、「離乳食は完了した(幼児食)」より、子ども一人あたりケア時間が長くなっている(5%水準で有意)。

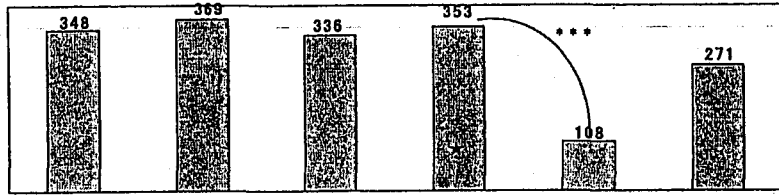
** ~ 5%水準で有意

【子どもの状態等編】結果(乳児)⑤

表P28

身体、発育の状態別(身長)子ども一人あたりケア時間/日
(乳児院)

※就学前児童のみ
単位:分



・身長が、「75~90パーセンタイル未満(やや高い)」が、子ども一人あたりケア時間が最も短くなっている。

※身長が、「75~90パーセンタイル未満(やや高い)」の方が、「25~75パーセンタイル(標準範囲)」に比べ、子ども一人あたりケア時間が短くなっている(1%水準で有意)。

◆乳幼児身体発育曲線による分類(身長)

3パーセンタイル未満	~ かなり低い
3~10パーセンタイル未満	~ とても低い
10~25パーセンタイル未満	~ やや低い
25~75パーセンタイル未満	~ 標準範囲
75~90パーセンタイル未満	~ やや高い
90パーセンタイル以上	~ とても高い

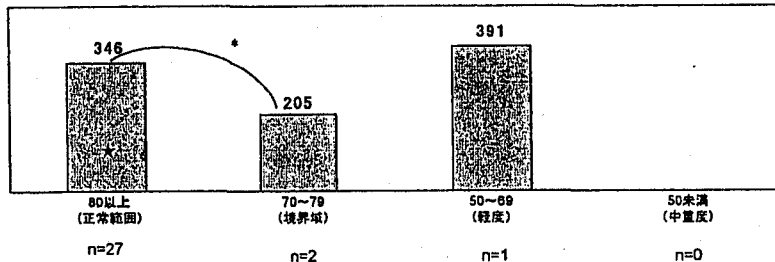
*** ~ 1%水準で有意

【子どもの状態等編】結果(乳児)⑥

表P31

発達指数別子ども一人あたりケア時間/日
(乳児院)

単位:分



・発達指数が「境界域」の方が、子ども一人あたりケア時間が短くなっている。

※発達指数が「70~79(境界域)」の方が、「80以上(正常範囲)」に比べ、子ども一人あたりケア時間が短くなっている(10%水準で有意傾向)。

★:基準値

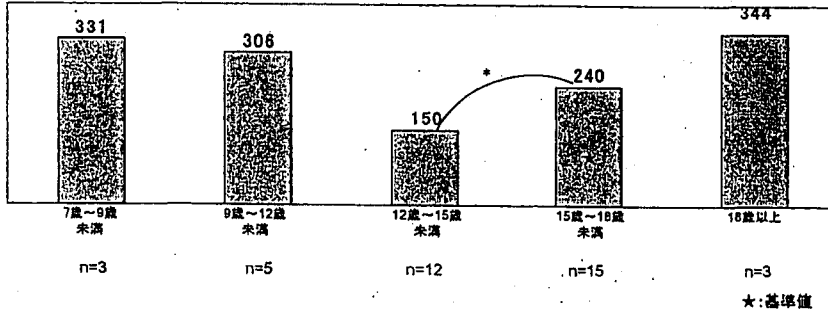
* ~10%水準で有意傾向

【子どもの状態等編】結果(情短)①

表P36

年齢別子ども一人あたりケア時間／日
(情緒障害児短期治療施設)

単位:分



・「12歳~15歳未満」が子ども一人あたりケア時間が最も短くなっている。
 ※「12歳~15歳未満」の方が、「15歳~18歳未満」に比べ、10%水準で子ども一人あたりケア時間が短くなっている(10%水準で有意傾向)。

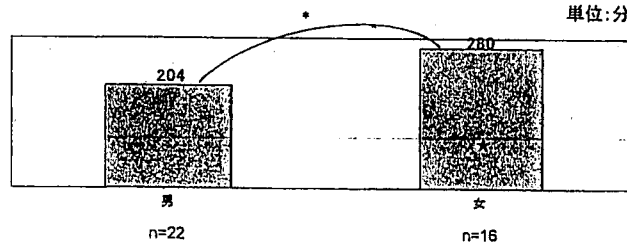
* ~10%水準で有意傾向

【子どもの状態等編】結果(情短)②

表P37

男女別子ども一人あたりケア時間／日
(情緒障害児短期治療施設)

単位:分



・「女児」の方が「男児」に比べ、子ども一人あたりケア時間が長くなっている。
 ※「女児」の方が、「男児」に比べ、子ども一人あたりケア時間が長くなっている(10%水準で有意傾向)。

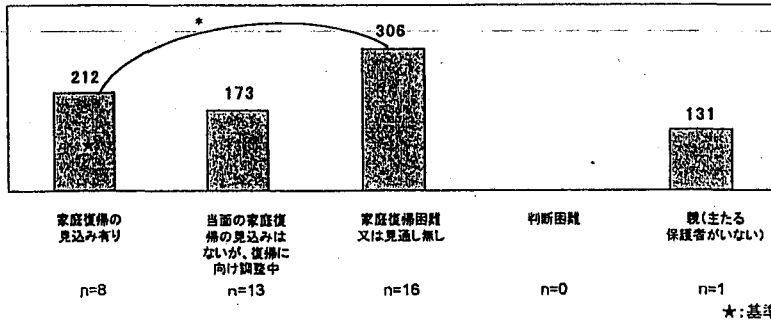
* ~10%水準で有意傾向

【子どもの状態等編】結果(情短)③

表P39

家庭復帰の見通し状況別子ども一人あたりケア時間/日
(情緒障害児短期治療施設)

単位:分



・「家庭復帰困難又は見通し無し」が、子ども一人あたりケア時間が最も長くなっている。
 ※「家庭復帰困難又は見通し無し」の方が、「家庭復帰の見込み有り」に比べ、子ども一人あたりケア時間が長くなっている(10%水準で有意傾向)。

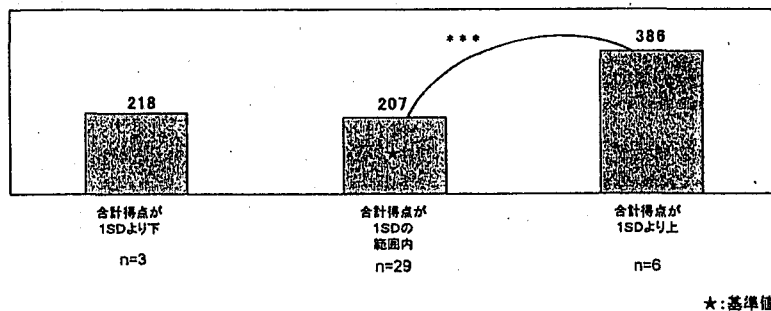
* ~10%水準で有意傾向

【子どもの状態等編】結果(情短)④

表P44

情緒・行動上の特徴のレベル別子ども一人あたりケア時間/日
(情緒障害児短期治療施設)

単位:分



・情緒・行動上の特徴の問題が多い方が、子ども一人あたりケア時間が高くなっている。
 ※情緒・行動上の特徴の合計得点が、「合計得点1SDより上」の方が、「1SDの範囲内」に比べ、子ども一人あたりケア時間が長くなっている(1%水準で有意)。

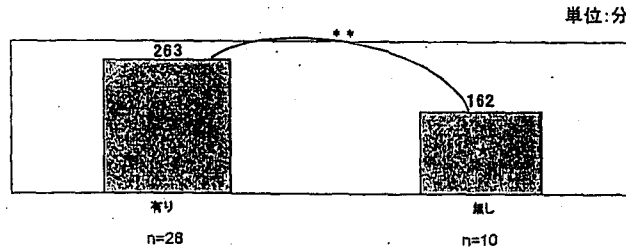
*** ~1%水準で有意

合計得点が1SDより下 ~ 標準より情緒・行動上の問題が少ない
 合計得点が1SDの範囲内 ~ 標準範囲
 合計得点が1SDより上 ~ 標準より情緒・行動上の問題が多い

【子どもの状態等編】結果(情短)⑤

表P46

家族への支援の有無別子ども一人あたりケア時間／日
(情緒障害児短期治療施設)



単位:分

★:基準値

・家族への支援「あり」の方が、子ども一人あたりケア時間が長くなっている。
※家族への支援「あり」の方が、「無し」に比べ、子ども一人あたりケア時間が長くなっている(5%水準で有意)。

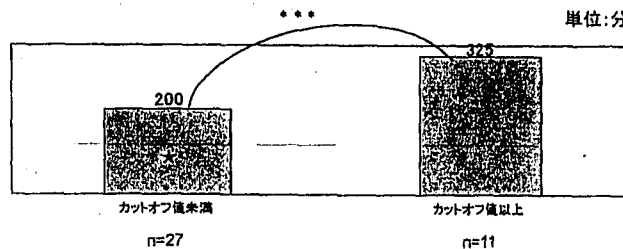
○家族への支援の有無
当該児童の家族等に対する面接や家庭訪問など継続的な家族支援の有無

** ~ 5%水準で有意

【子どもの状態等編】結果(情短)⑥

表P46

「不適切な養育を受けた子どもの行動チェックリスト(就学後児童)」
の評価レベル別子ども一人あたりケア時間／日
(情緒障害児短期治療施設)



単位:分

※カットオフ値を60.5とした

★:基準値

・専門的なケアを要する状態にある方が、子ども一人あたりケア時間が長くなっている。
※「カットオフ値以上」の方が、「カットオフ値未満」に比べ、子ども一人あたりケア時間が長くなっている(1%水準で有意)。

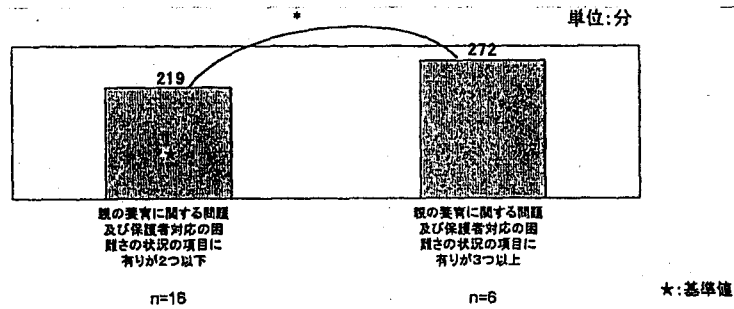
カットオフ値 ~ 専門的なケアを要するかどうかの基準値
カットオフ値以上 ~ 専門的なケアを要する状態

*** ~ 1%水準で有意

【子どもの状態等編】結果(自立)①

表P53

親の養育に関する問題及び保護者対応の困難さの状況別
子ども一人あたりケア時間/日(児童自立支援施設)



・親の養育に関する問題及び保護者対応の困難さがある方が、子ども一人あたりケア時間が長くなっている。

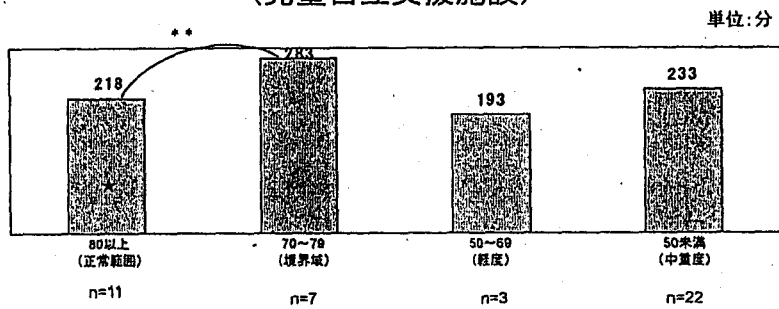
※「親の養育に関する問題及び保護者対応の困難さの状況の項目に有りが3つ以上」の方が、「親の養育に関する問題及び保護者対応の困難さの状況の項目に有りが2つ以下」に比べ、子ども一人あたりケア時間が長くなっている(10%水準で有意傾向)。

* ~10%水準で有意傾向

【子どもの状態等編】結果(自立)②

表P55

知能指数別子ども一人あたりケア時間/日
(児童自立支援施設)



・知能指数が「70~79(境界域)」が、子ども一人あたりケア時間が最も長くなっている。

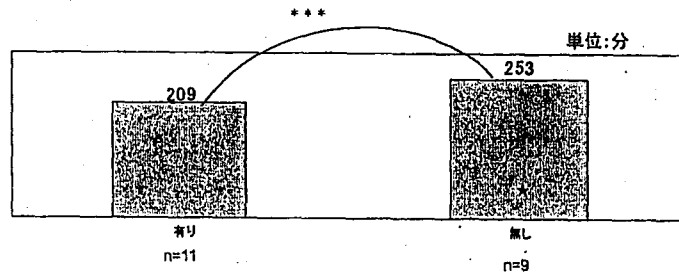
※知能指数が「70~79(境界域)」の方が、「80以上(正常範囲)」に比べ、子ども一人あたりケア時間が長くなっている(5%水準で有意)。

** ~5%水準で有意

【子どもの状態等編】結果(自立)③

表P56

定期的な通院の有無別子ども一人あたりケア時間/日
(児童自立支援施設)



★:基準値

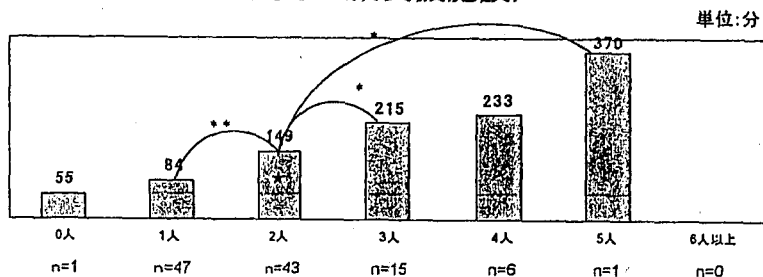
・定期的な通院「有り」の方が、子ども一人あたりケア時間が短くなっている。
※定期的な「有り」の方が、「無し」に比べ、子ども一人あたりケア時間が短くなっている(1%水準で有意)。

*** ~ 1%水準で有意

【母親の状態等編】結果(母子・世帯)①

表P60

世帯児童数別一世帯あたりケア時間/日
(母子生活支援施設)



★:基準値

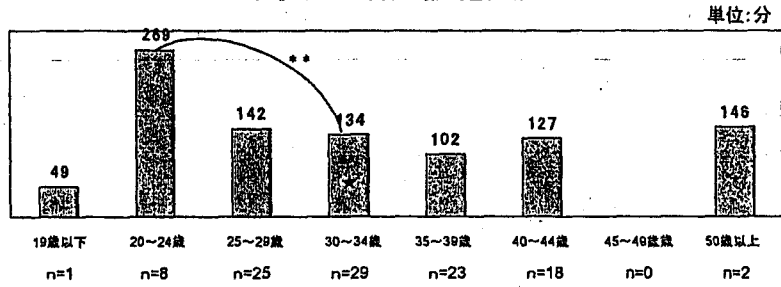
・子どもの数が増えるにつれて、一世帯あたりケア時間が長くなっている。
※子どもの数が「3人」及び「5人」の方が、「2人」に比べ、一世帯あたりケア時間が長くなっている(10%水準で有意傾向)。
※子どもの数が「1人」の方が、「2人」に比べ、一世帯あたりケア時間が短くなっている(5%水準で有意)。

** ~ 5%水準で有意 * ~ 10%水準で有意傾向

【母親の状態等編】結果(母子・世帯)②

表P61

母親の年齢階層別一世帯あたりケア時間/日
(母子生活支援施設)



★:基準値

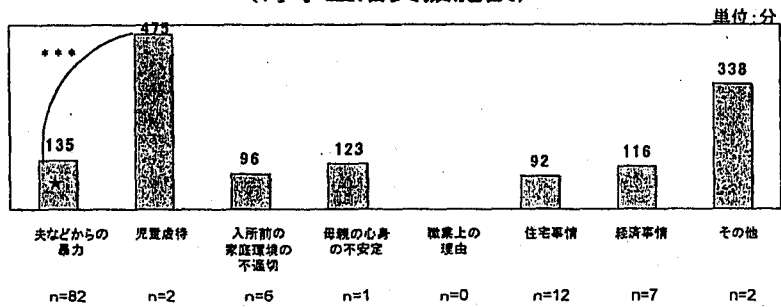
・母親の年齢が、「20~24歳」が最も一世帯あたりケア時間が長くなっている。
 ※母親の年齢が「20~24歳」の方が、「30~34歳」に比べ、一世帯あたりケア時間が長くなっている(5%水準で有意)。

** ~ 5%水準で有意

【母親の状態等編】結果(母子・世帯)③

表P63

主たる入所理由別一世帯あたりケア時間/日
(母子生活支援施設)



★:基準値

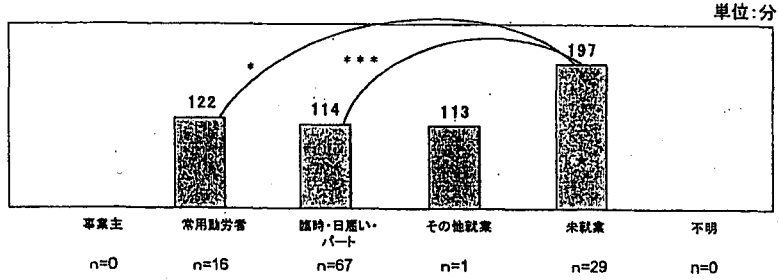
・主たる入所理由については、「児童虐待」が一世帯あたりケア時間が最も長くなっている。
 ※「児童虐待」の方が、「夫などからの暴力」に比べ、一世帯あたりケア時間が長くなっている(1%水準で有意)。

*** ~ 1%水準で有意

【母親の状態等編】結果(母子・世帯)④

表P64

母親の就業状況別一世帯あたりケア時間／日
(母子生活支援施設)



★:基準値

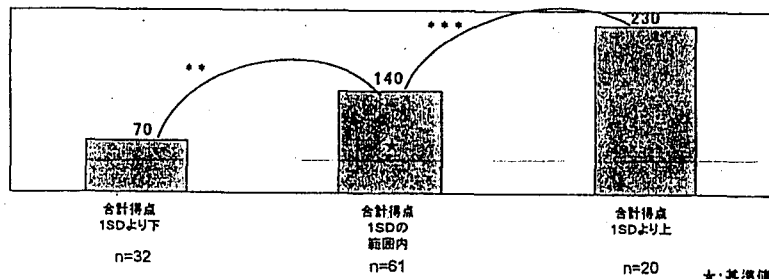
- ・母親の就業状況が、「就業」の方が、一世帯あたりケア時間が短くなっている。
- ※母親の就業状況が「臨時・日雇い・パート」の方が、「未就業」に比べ、一世帯あたりケア時間が短くなっている(1%水準で有意)。
- ※母親の就業状況が「常用勤労者」の方が、「未就業」に比べ、一世帯あたりケア時間が短くなっている(10%水準で有意傾向)。

*** ~ 1%水準で有意 * ~ 10%水準で有意傾向

【母親の状態等編】結果(母子・世帯)⑤

表P66

情緒・行動上の特徴(母親)のレベル別
一世帯あたりケア時間／日(母子生活支援施設)



★:基準値

- ・母親の情緒・行動上の問題が多いほど、一世帯あたりのケア時間が長くなっている。
- ※母親の情緒・行動上の特徴の合計得点が、「1SD以上」の方が、「1SDの範囲内」に比べ、一世帯あたりケア時間が長くなっている(1%水準で有意)。
- ※母親の情緒・行動上の特徴の合計得点が、「1SD以下」の方が、「1SDの範囲内」に比べ、一世帯あたりケア時間が短くなっている(5%水準で有意)。

*** ~ 1%水準で有意 ** ~ 5%水準で有意

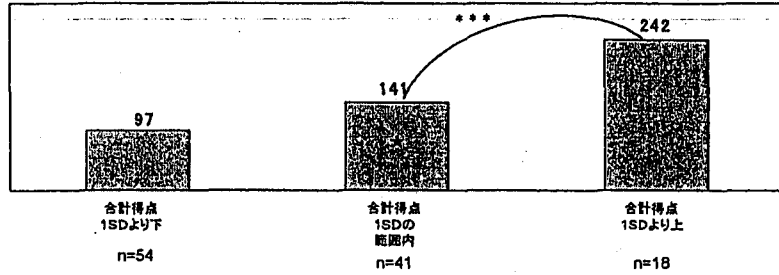
合計得点が1SD以下 ~ 標準より情緒・行動上の問題が少ない
合計得点が1SDの範囲内 ~ 標準範囲
合計得点が1SD以上 ~ 標準より情緒・行動上の問題が多い

【母親の状態等編】結果(母子・世帯)⑥

表P66

情緒・行動上の特徴(母子関係)のレベル別
一世帯あたりケア時間/日(母子生活支援施設)

単位:分



★:基準値

・母子関係の情緒・行動上の問題が多い方が、一世帯あたりのケア時間が長くなっている。
※母子関係についての、情緒・行動上の特徴の合計得点が、「1SDより上」の方が「1SDの範囲内」に比べ、一世帯あたりケア時間が長くなっている(1%水準で有意)。

合計得点が1SDより下 ~ 標準より情緒・行動上の問題が少ない
合計得点が1SDの範囲内 ~ 標準範囲
合計得点が1SDより上 ~ 標準より情緒・行動上の問題が多い

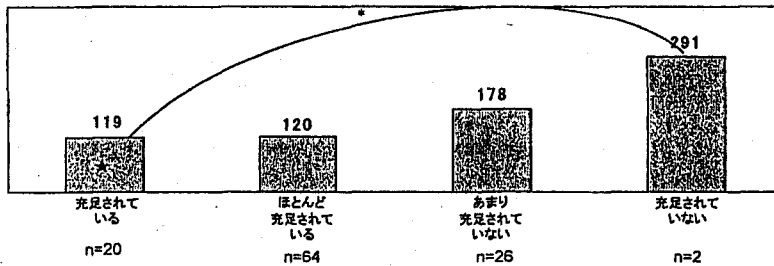
*** ~ 1%水準で有意

【母親の状態等編】結果(母子・世帯)⑦

表P67

ケアニーズの充足状況に関する評価別
一世帯あたりケア時間/日(母子生活支援施設)

単位:分



★:基準値

・ケアニーズ充足度が低いほど、一世帯あたりケア時間が長くなっている。
※ケアニーズが「充足されていない」の方が、「充足されている」に比べ、一世帯あたりケア時間が長くなっている(10%水準で有意傾向)。

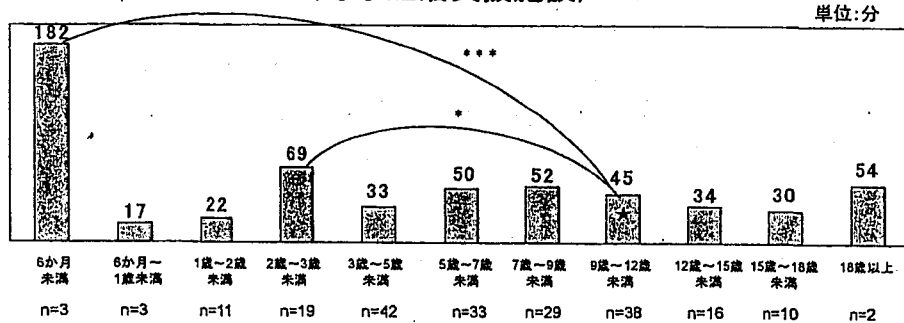
○ケアニーズの充足状況
当該児童のケアニーズがどの程度充足されているのかについて、現状の職員数、施設状況等といったサービス提供体制上の制約がないものと仮定して、施設職員が評価するもの

* ~ 10%水準で有意傾向

【子ども状態等編】結果(母子・児童)①

表P68

子どもの年齢別子ども一人あたりケア時間/日
(母子生活支援施設)



★:基準値

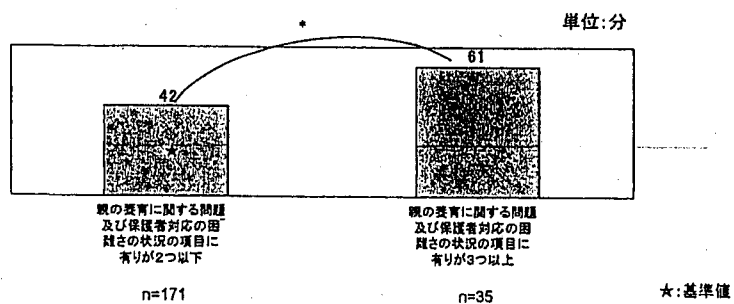
- ・「6か月未満」が、他の年齢層に比べ、子ども一人あたりケア時間が長くなっている。
- ※「6か月未満」の方が、「9歳～12歳未満」に比べ、子ども一人あたりケア時間が長くなっている(1%水準で有意)。
- ※「2歳～3歳未満」の方が、「9歳～12歳未満」に比べ、子ども一人あたりケア時間が長くなっている(10%水準で有意傾向)。

*** ~ 1%水準で有意 * ~ 10%水準で有意傾向

【子ども状態等編】結果(母子・児童)②

表P71

親の養育に関する問題及び保護者対応の困難さの状況別
子ども一人あたりケア時間/日(母子生活支援施設)



★:基準値

- ・親の養育に関する問題及び保護者対応の困難さがある方が、子ども一人あたりケア時間が長くなっている。
- ※「親の養育に関する問題及び保護者対応の困難さの状況の項目に有りが3つ以上」の方が、「親の養育に関する問題及び保護者対応の困難さの状況の項目に有りが2つ以下」に比べ、子ども一人あたりケア時間が長くなっている(10%水準で有意傾向)。

* ~ 10%水準で有意傾向

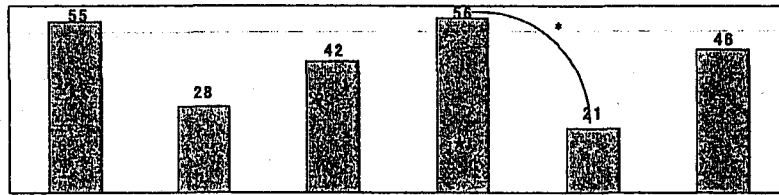
【子ども状態等編】結果(母子・児童)③

表P73

身体、発育の状態別(体重)子ども一人あたり

ケア時間/日(母子生活支援施設) ※就学前児童のみ

単位:分



3パーセンタイル未満 n=2
3~10パーセンタイル未満 n=7
10~25パーセンタイル未満 n=15
25~75パーセンタイル未満 n=42
75~90パーセンタイル未満 n=17
90パーセンタイル以上 n=9

★:基準値

※体重が、「75~90パーセンタイル以上(やや多い)」の方が、「25~75パーセンタイル(標準範囲)」に比べ、子ども一人あたりケア時間が短くなっている(10%水準で有意傾向)。

◆乳幼児身体発育曲線による分類(体重)
3パーセンタイル未満 ~ かなり少ない
3~10パーセンタイル未満 ~ とても少ない
10~25パーセンタイル未満 ~ やや少ない
25~75パーセンタイル未満 ~ 標準範囲
75~90パーセンタイル未満 ~ やや多い
90パーセンタイル以上 ~ とても多い

* ~ 10%水準で有意傾向

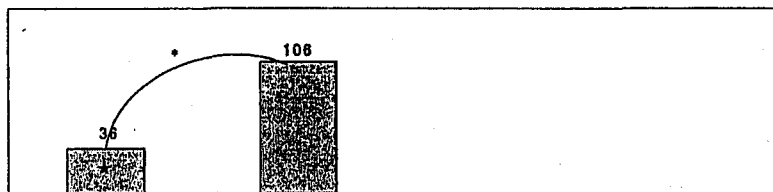
【子ども状態等編】結果(母子・児童)④

表P75

知能指数又は発達指数別

子ども一人あたりケア時間/日(母子生活支援施設)

単位:分



80以上(正常範囲) n=3
70~79(境界域) n=4
50~69(軽度) n=0
50未満(中重度) n=0

★:基準値

・知能指数又は発達指数が「70~79(境界域)」の方が、子ども一人あたりケア時間が長くなっている。

※知能指数又は発達指数が「70~79(境界域)」の方が、「80以上(正常範囲)」に比べ、子ども一人あたりケア時間が長くなっている(10%水準で有意傾向)。

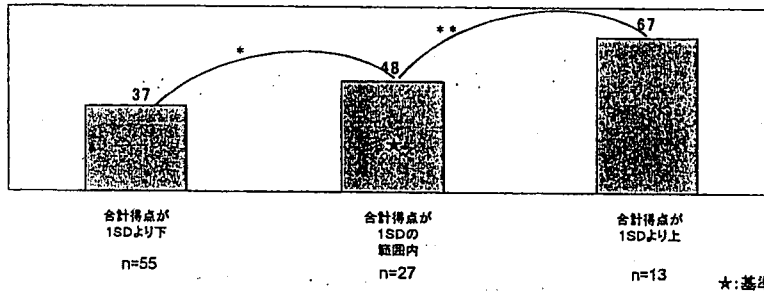
* ~ 10%水準で有意傾向

【子ども状態等編】結果(母子・児童)⑤

表P76

情緒・行動上の特徴(児童)のレベル別子ども一人あたり
ケア時間/日(就学後児童)(母子生活支援施設)

単位:分



・児童の情緒・行動上の問題が多いほど、子ども一人あたりケア時間が長くなっている。
 ※情緒・行動上の特徴(児童)の合計得点が、「1SDより上」の方が、「1SDの範囲内」に比べ、子ども一人あたりケア時間が長くなっている(5%水準で有意)。
 ※情緒・行動上の特徴(児童)の合計得点が、「1SDより下」の方が、「1SDの範囲内」に比べ、子ども一人あたりケア時間が短くなっている(10%水準で有意傾向)。

*** ~ 5%水準で有意 * ~ 10%水準で有意傾向

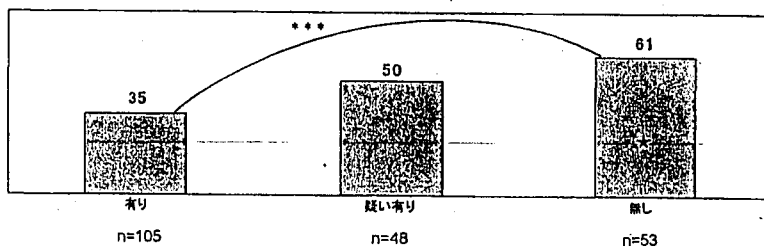
合計得点が1SDより下	~ 標準より情緒・行動上の問題が少ない
合計得点が1SDの範囲内	~ 標準範囲
合計得点が1SDより上	~ 標準より情緒・行動上の問題が多い

【子ども状態等編】結果(母子・児童)⑥

表P77

被虐待体験の有無(児童)別子ども一人あたりケア時間/日
(母子生活支援施設)

単位:分



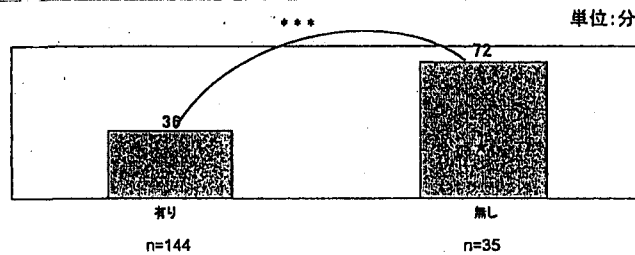
※被虐待体験「有り」の方が、「無し」に比べ、子ども一人あたりケア時間が短くなっている(1%水準で有意)。

*** ~ 1%水準で有意

【子ども状態等編】結果(母子・児童)⑦

表P78

家族への支援(児童)の有無別子ども一人あたり
ケア時間/日(母子生活支援施設)



★:基準値

※家族への支援「有り」の方が、「無し」に比べ、子ども一人あたりケア時間が短くなっている(1%水準で有意)。

○家族への支援の有無

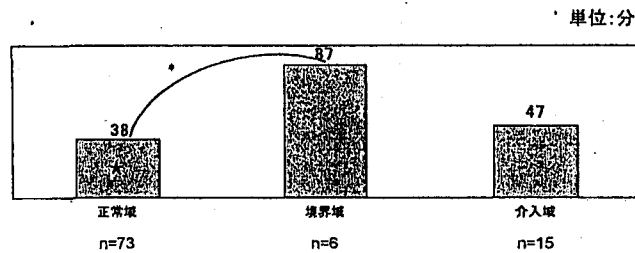
当該児童の家族等に対する面接や家庭訪問など継続的な
家族支援の有無

*** ~ 1%水準で有意

【子ども状態等編】結果(母子・児童)⑧

表P79

「養育問題のある子どもの行動チェックリスト(就学前児童)」の
評価レベル別子ども一人あたりケア時間/日(母子生活支援施設)



★:基準値

・「養育問題のある子どもの行動チェックリスト」の評価が「境界域(できるだけ特別なケアが必要)」が、子ども一人あたりケア時間が最も長くなっている。

※「境界域」の方が、「正常域」に比べ、子ども一人あたりケア時間が長くなっている(10%水準で有意傾向)。

境界域 ~ できるだけ特別なケアが必要
介入域 ~ 特別なケアが必要

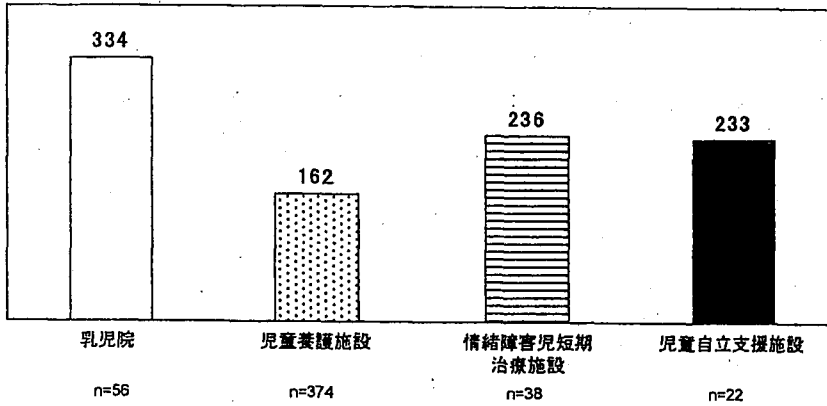
* ~ 10%水準で有意傾向

【施設環境編】結果①

表P83

施設種別別子ども一人あたりケア時間／日

単位:分



施設種別別による子ども一人あたりケア時間は、乳児院が最も多く、次いで情緒障害児短期治療施設、児童自立支援施設、児童養護施設の順に長くなっている。

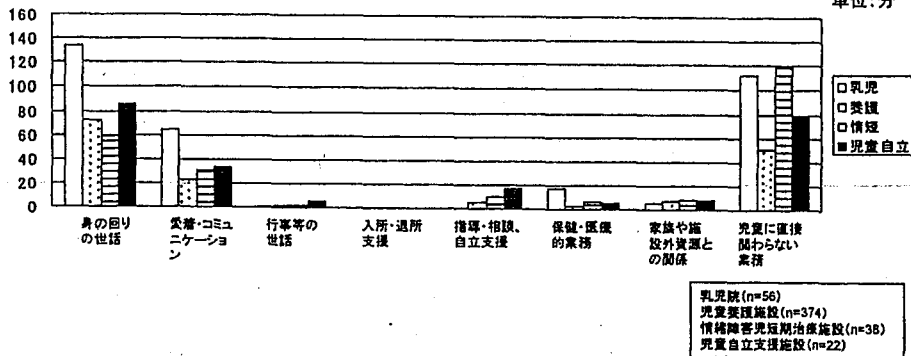
【施設環境編】結果②

表P83

施設種別別業務分類別(大分類)

子ども一人あたりケア時間／日

単位:分



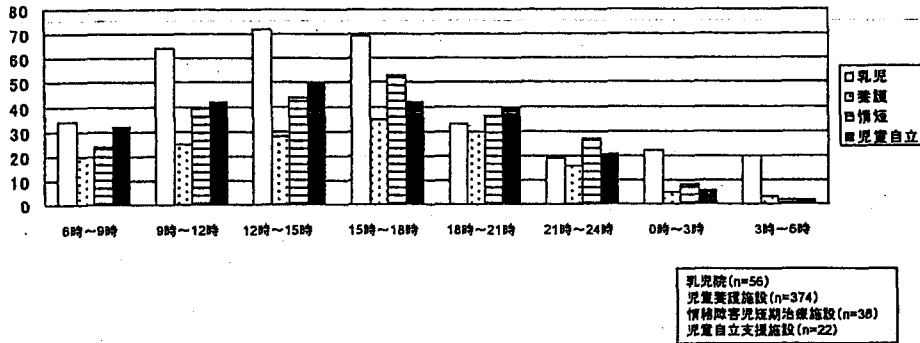
業務分類別にみると、どの施設種別でも「児童に直接関わらない業務」「身の回りの世話」が子ども一人あたりケア時間が長くなっている。
 ・「身の回りの世話」と「愛着・コミュニケーション」では、乳児院が最も長く、次いで児童自立支援施設、児童養護施設の順に長くなっている。
 ・「児童に直接関わらない業務」では、情緒障害児短期治療施設が最も長く、次いで乳児院、児童自立支援施設の順に長くなっている。

【施設環境編】結果③

表P83

施設種別別時間帯別子ども一人あたりケア時間

単位:分



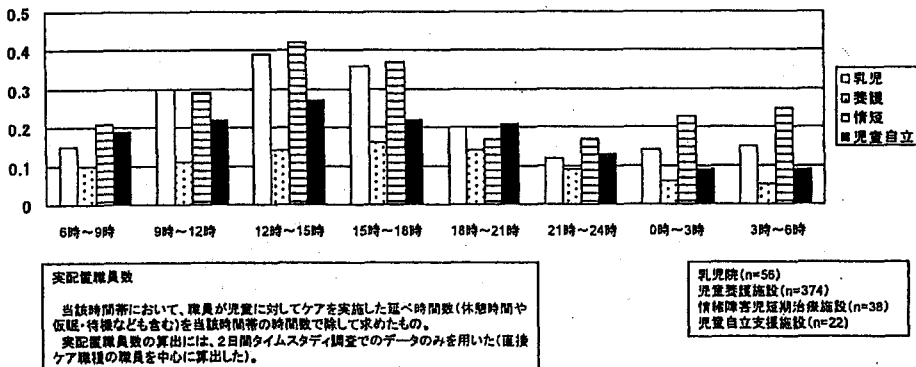
- 各施設種別で子ども一人あたりケア時間が最も長くなっている時間帯は、乳児院と児童自立支援施設では「12時～15時」、児童養護施設と情緒障害児短期治療施設では「15時～18時」となっている。
- 乳児院では、他の施設種別ではケア時間がほとんどない時間帯(「0時～3時」、「3時～6時」)においても一人あたりケア時間が20分程度ある。

【施設環境編】結果④

表P83

施設種別別時間帯別実配置職員数

単位:人



実配置職員数
当該時間帯において、職員が児童に対してケアを実施した延べ時間数(休憩時間や飯詰・待機なども含む)を当該時間帯の時間数で除して求めたもの。
実配置職員数の算出には、2日間タイムスタディ調査でのデータのみを用いた(直接ケア業務の職員を中心に算出した)。

乳児院 (n=56)
児童養護施設 (n=374)
情緒障害児短期治療施設 (n=38)
児童自立支援施設 (n=22)

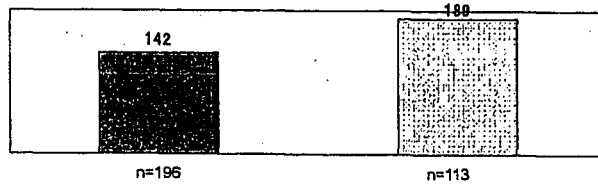
- 各施設種別で実配置職員数が最も多くなっている時間帯は、児童養護施設以外全ての施設種別で「12時～15時」が最も多く、児童養護施設では、「15時～18時」が最も多くなっている。

【施設環境編】結果⑤

表P85

ケア形態別子ども一人あたりケア時間／日
(児童養護施設)

単位:分



■ 大舎
□ 小舎・小規模

※職員配置の手厚い施設における比較

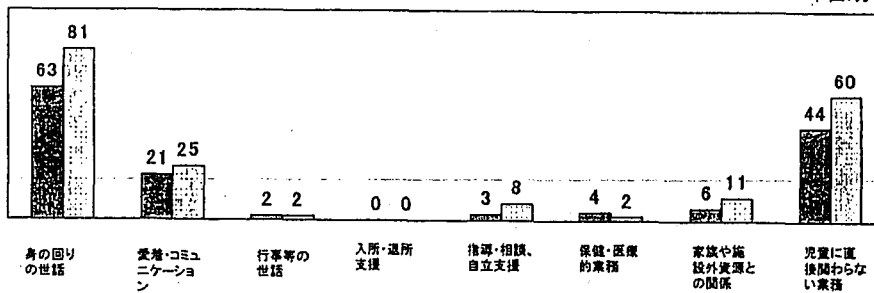
・「小舎・小規模」が189分、「大舎」が142分となっており、子ども一人あたり47分のケア時間の差が見られる。

【施設環境編】結果⑥

表P85

ケア形態別業務分類別(大分類)子ども一人あたりケア時間／日
(児童養護施設)

単位:分



■ 大舎
□ 小舎・小規模

・業務分類で見ると、「身の回りの世話」、「愛着・コミュニケーション」、「指導・相談、自立支援」「家族や施設外資源との関係」、「児童に直接関わらない業務」において、「小舎・小規模」の方が、「大舎」よりケア時間が長くなっている。

今後の分析のポイント(素案)

- 施設類型の見直しに関連するデータの分析
 - ・施設種別ごとの子どもの状態の違い
 - ・施設種別ごとのケア内容の違い(中分類レベルでの分析)
 - ・施設種別ごとの同じ状態の子どもへのケア内容の違い
- 子どもの状態とケアの内容・時間の違いについての分析
 - ・子どもの状態によるケア内容・時間の違いや、これらに関するグループインタビューとの一致・違い
- ケア形態の違いによるケアの違いについての分析
 - ・ケア形態ごとのケア内容の違い(中分類レベルでの分析)
 - ・ケア形態ごとの同じ状態の子どもへのケア内容の違い
- 適切な人員配置についての分析
 - ・子どもの状態に応じた適切なケアの提供量・ケア内容の分析・検討
- ケアの負担感に影響するアセスメント項目についての分析
 - ・ケアの負担感に影響するアセスメント項目についての分析
- 子ども一人あたりケア時間とアセスメント評価項目との相関
 - ・ケア時間に影響するアセスメント項目についての分析

等

今後考えられるクロス集計・分析(素案)

- 施設類型の見直しに関連するデータの分析
(例)
 - ・施設種別 × 子どもの状態(各アセスメント項目における割合の違い)
 - ・施設種別 × 業務分類(中分類レベルでの分析)
 - ・施設種別 × 業務分類(同じ状態の子どもで分析)
- 子どもの状態とケアの内容・時間の違いについての分析
 - ケア時間に影響するアセスメント項目を相関により抽出し、他のアセスメント項目とのクロス集計を行うことにより、より詳細な分析を行う
(例)
 - ・年齢 × 情緒行動上の特徴 等
 - ケア時間に影響するアセスメント項目とグループインタビューとの一致・違いについての分析
- ケア形態の違いによるケア内容・時間の違いの分析
 - ・ケア形態 × 業務分類(中分類レベルでの分析)
 - ・ケア形態 × 業務分類(同じ状態の子どもで分析)

グループインタビューにおける主な意見

		児童養護施設 (小舎)	児童養護施設 (大舎・中舎)	乳児院	情緒障害児短期治療施設	母子生活支援施設
当該施設に入所していることが不適切と考えられる児童(世帯)	障害・能力	・知的障害 ・発達障害 ・身辺自立ができていない	・知的障害 ・発達障害(広汎性発達障害やADHD)のため、多動性や衝動性、攻撃性が高い	・脳性マヒ ~ 訓練が必要	・知的障害	・母親が知的障害で、子どもも知的障害(母子分離が必要)
	疾患	・精神科治療が必要(被虐待によるトラウマ、精神疾患等)	・精神科治療が必要(被虐待によるトラウマ、精神疾患等)	・重度の神経疾患 ~ 医療ケアが必要	・重度の精神疾患(統合失調症)	
	問題行動・状態	・暴力(他害行為)	・非行 ・他児への影響が大きい場合(性暴力、暴力、無断外出、高年齢での入所等)			
最もケア時間が長いと考えられる児童(世帯)	障害・能力	・身辺自立度が低い ・学習指導が必要	・発達障害(学習障害) ・発達の遅れ ・身辺自立度が低い		・反応性愛着障害 ・発達障害(広汎性発達障害やADHD)	・母親の家事能力や育児能力が低い
	年齢・入所期間	・入所期間が短い(入所後間もない)	・年齢(幼児) ・入所期間が短い(入所後間もない)		・入所期間が短い(入所後間もない) ・年齢(幼児)	
	疾患			・薬物離脱症候群(母体の薬物使用)		
	問題行動・状態	・トラブルをよくおこす ・子どもの愛着要求が強い ・対応困難な保護者への対応	・トラブルをよくおこす ・子どもの愛着要求が強い ・夜尿がある ・虚言(関わりを求めて)	・情緒面が安定していない(激しくぐずる、泣く)	・被虐待 ・退所に向けての準備をしていた(自立訓練)	・母親の家族関係の調整や相談が必要 ・母親の人間関係のトラブルが多い
最もケア時間が短いと考えられる児童(世帯)	能力	・身辺自立している	・身辺自立している			
	年齢・入所期間	・年齢(中高生等) ・入所期間が長く、生活能力がついている	・年齢(中高生等) ・入所期間が長く、生活能力がついている	・新生児(1か月)	・年齢(中高生等)	・入所期間が長い ・入所期間が短い(職員の関わりを求めない)
	状態	・コミュニケーションを求めない、苦手		・穏やかで手がかからない	・部屋で自分の好きなことをしている	・母親の就労状態が良い ・自立の準備ができています
	在園時間	・在園時間が短い(部活、許可外泊、一時保護等)	・在園時間が短い(部活、自立訓練棟で生活)		・在園時間が短い(自動車学校、許可外泊)	
	その他	・他の児童にケアの時間をとられる				

資料1-2

第8回社会保障審議会児童部会
社会的養護専門委員会提出資料

「平成20年度社会的養護における施設ケアに関する実態調査」

アセスメント調査票

(母子生活支援施設以外・就学前児童用)

本調査は2日間タイムスタディ調査の調査期間に
おける対象児童の状態を把握するものです。

<ご回答の方法>

1. ご記入に先立ち、説明資料「アセスメント票の記入要領【就学前児童用】」を必ずお読み下さい。
2. 本調査票には、2日間タイムスタディ調査の対象となったユニット等に所属する就学前の児童全員の状態をご記入下さい。
3. 「施設ID（英数字5桁）」及び「児童ID（数字2桁）」は、調査対象児童一覧表に基づいてご記入下さい。
4. 不明点などにつきましては下記のコールセンターで受け付けております。お気軽にお問い合わせ下さいますようお願い致します。
5. 回答が終わりましたら記載内容をご確認の上、貴施設で設定されたスケジュールに合わせて調査事務局までご返送下さい。

【コールセンター】

「平成20年度社会的養護における施設ケアに関する実態調査」調査事務局
(みずほ情報総研)

TEL：0120-701-181（受付時間：9時30分～17時00分）

FAX：03-5281-5443

アセスメント票（就学前児童用）

施設ID (5桁の英数字)

児童ID (2桁の数字)

I. 基本属性 当該児童に関する基本属性を回答してください。

問1 生年月

西暦 年 月

問2 性別

1. 男 2. 女

問3 貴施設への入所年月 当該児童の貴施設への入所年月及び入所回数、措置変更の状況について記入してください。

西暦 年 月

問3-1 貴施設への入所回数	1. 1回(初回) 2. 2回目 3. 3回目 4. 4回目 5. 5回目以上 6. 不明
問3-2 措置変更の有無	0. 貴施設への措置変更前の居所 1. 乳児院 2. 児童養護施設 3. 情緒障害児短期治療施設 (4. 児童自立支援施設) 5. 母子生活支援施設 6. 里親 7. 上記以外の児童福祉施設() 8. その他 ()
	2. 無し

問4 入所後の一時保護の経緯

1. 有り 2. 無し 3. 不明

問5 養護問題発生理由 (入所時点) 当該児童の養護問題が発生した家庭の状況(理由)を以下の項目の中から最大4つまで選んでください。

1. 父の死亡	2. 母の死亡	3. 父の行方不明	4. 母の行方不明
5. 父母の離婚	6. 両親の未婚	7. 父母の不和	8. 父の拘禁
9. 母の拘禁	10. 父の入院	11. 母の入院	12. 家族の疾病の付添い
13. 次子出産	14. 父の就労	15. 母の就労	16. 父の精神障害等
17. 母の精神障害等	18. 父の放任・怠だ	19. 母の放任・怠だ	20. 父の虐待・酷使
21. 母の虐待・酷使	22. 棄児	23. 養育拒否	24. 破産等の経済的理由
25. 児童の問題による監護困難	26. その他 ()	27. 不詳	

問6 通園の状況 当該児童の通園の状況について、以下の項目から1つだけ選んでください。

1. 良好 2. やや問題あり 3. 問題あり 4. 判断困難 5. 通園していない

問6-1 通園先 問6で1から4を選択した場合に回答ください。通園先はどこですか。

施設内併設	1. 保育所	2. 幼稚園	3. その他 ()
施設外	1. 保育所	2. 幼稚園	3. その他 ()

問7 家庭復帰の見通し 当該児童の家庭復帰の見通しについて以下の項目から1つ選んでください。

- | | |
|------------------|-----------------------------|
| 1. 家庭復帰の見込み有り | 2. 当面の家庭復帰の見込みはないが、復帰に向け調整中 |
| 3. 家庭復帰困難又は見込み無し | 4. 判断困難 |
| | 5. 親(主たる保護者)がいない |

問8 面会・外出・外泊の状況 面会・外出・外泊の有無及び有りの場合の頻度について回答してください。

面会の有無	1. 有り	2. 無し	有りの場合の頻度	1か月に () 回	又は1年に () 回
外出の有無	1. 有り	2. 無し	有りの場合の頻度	1か月に () 回	又は1年に () 回
外泊の有無	1. 有り	2. 無し	有りの場合の頻度	1年に () 回	

問9 退所予定の有無 調査時点において当該児童の具体的な退所予定があれば記入してください。

1. 退所予定有り	0. 予定時期	西暦 _____ 年 _____ 月 頃
	0. 予定している行き先	1. 保護者宅 2. 親戚宅 3. 里親宅 4. 知人・友人宅 5. 乳児院 6. 児童養護施設 7. 情緒障害児短期治療施設 8. 児童自立支援施設 9. 母子生活支援施設 10. 他の児童福祉施設 () 11. 医療機関 12. その他 ()
2. 退所予定無し		

II. 親(主たる保護者)の状況 親(主たる保護者)がいない場合は、「Ⅲ. 児童の状況」へ進んでください。

問10 親(主たる保護者)の状況 当該児童の親(主たる保護者)の状況および続柄を記入してください。

1. いる	0. 続柄(あてはまるもの全てに○)	
	1. 実父 2. 実母 3. 養(継)父 4. 養(継)母 5. 祖父 6. 祖母 7. 兄弟姉妹 8. 義兄弟姉妹 9. 伯(叔)父 10. 伯(叔)母 11. 里親 12. その他 ()	
2. いない	2. いない = 「Ⅲ. 対象児童の状態」にお進みください(問11はとばしてください)。	

問11 養育に関する問題及び親(主たる保護者)の養育に関する問題及び保護者対応の困難さの状況についてそれぞれ回答してください。

人格障害傾向	1. 有り	2. 無し	3. 判断困難	※人格障害傾向の診断や疑いが見られる場合等。
抑うつ傾向	1. 有り	2. 無し	3. 判断困難	※抑うつ傾向が1週間以上続いている場合等。
アルコール乱用・依存	1. 有り	2. 無し	3. 判断困難	※飲酒により仕事や家事ができないことがある場合等。
薬物乱用・依存	1. 有り	2. 無し	3. 判断困難	※麻薬、覚醒剤、シンナー、精神治療薬、鎮痛剤等の乱用・依存
子どもへの愛着形成の困難	1. 有り	2. 無し	3. 判断困難	※かわいいと思えない、受容できない、無関心等
不安傾向	1. 有り	2. 無し	3. 判断困難	
パニック障害	1. 有り	2. 無し	3. 判断困難	
統合失調症の疑い	1. 有り	2. 無し	3. 判断困難	
知的障害	1. 有り	2. 無し	3. 判断困難	
施設の指導に従わない	1. 有り	2. 無し	3. 判断困難	
クレームが多い	1. 有り	2. 無し	3. 判断困難	
長時間の電話や頻回の来園(クレーム以外の相談等)	1. 有り	2. 無し	3. 判断困難	

III. 対象児童の状態

現在の状態を評価してください。

問12 出生時の状況		当該児童の出生時の状況について記入してください。	
出生時体重	1. () グラム	2. 不明	
在胎週数 36週以前の早期での出産	1. はい () 週 () 日	2. いいえ	3. 不明
修正年齢 ※乳児期のみ	() 歳 () ヶ月		
出産後の問題	1. 有り	0. 具体的な内容(当てはまるもの全てに○)	
		1. 保育器の使用	2. 2週間以上の入院
		3. 発育不全	4. 先天性の異常
		5. その他 ()	
	2. 無し		
疾患および障害関連の問題	1. 有り(疾患および障害名:)		
	2. 無し		

問13 身体・発育の状態		調査時点における当該児童の体重と身長を記入してください。(小数第1位まで)	
身長	cm		
体重	kg		

問14 栄養状態		調査時点における当該児童の栄養状態を記入してください。		
哺乳・離乳食等の形態	1. ミルクのみ	2. ミルクに加え離乳食を開始している		
	3. 離乳食は完了した(幼児食)	4. その他	5. 判断困難	
摂食の状態	1. 問題無し			
	2. 問題有り	0. 具体的状況(当てはまるもの全てに○)		
		1. 小食	2. 過食	3. 拒食
	6. 食事に時間がかかる			
	3. 判断困難			

問15 発達状況(現在の状態を評価)					
(デンバー式発達スクリーニング検査およびデンバー式発達判定法に基づく記入要領を参照ください。)					
粗大運動に	0. 判断困難	1. 疑い無し	2. やや疑い有り	3. 疑い有り	4. 遅れ有り
微細運動に	0. 判断困難	1. 疑い無し	2. やや疑い有り	3. 疑い有り	4. 遅れ有り
言語的発達に	0. 判断困難	1. 疑い無し	2. やや疑い有り	3. 疑い有り	4. 遅れ有り
社会的発達に	0. 判断困難	1. 疑い無し	2. やや疑い有り	3. 疑い有り	4. 遅れ有り

問16 日常生活能力の発達(現在の状態を評価)					
現在の児童の状態を「1.年齢以上」/「2.年齢相当」/「3.やや遅れている」/「4.遅れている」/「5.判断困難」のいずれかで評価してください。評価の基準については記入要領を必ず参照ください。					
	1.年齢以上	2.年齢相当	3.やや遅れている	4.遅れている	5.判断困難
日常生活能力の発達(当てはまる番号1つに○)	1	2	3	4	5

問 17 知能および発達検査結果（最新の数値を記入）

検査年月日(最新)	西暦 _____ 年 _____ 月 _____ 日
知能指数(IQ)	_____
発達指数(DQ)	_____
検査の種類 (上記の検査種類)	1. WISC-Ⅲ知能検査 2. 田中ビネー知能検査 3. 新版K式発達検査 4. 津森・稲毛乳幼児精神発達検査 5. 遠城寺式乳幼児分析的発達検査法 6. その他(_____)

問 18 情緒・行動上の特徴（現在の状態を評価）

現在の児童の状態を「0.評価対象外」「1.疑い無し」「2.やや疑い有り」「3.疑い有り」「4.確かに問題有り」「5.判断困難」のいずれかで評価してください。評価の基準については記入要領を必ず参照ください。

	0.評価対象外	1.疑い無し	2.やや疑い有り	3.疑い有り	4.確かに問題有り	5.判断困難
1. 自閉的傾向 (人に対して反応しない、視線が合わない等)	0	1	2	3	4	5
2. 養育者との関係性 (なつかない、過度の反抗、養育者への暴力等)	0	1	2	3	4	5
3. 注意欠陥・多動傾向 (落ち着かない、過度の注意散漫等)	0	1	2	3	4	5
4. 反社会的行動傾向 (いじめ、過度なけんか、嘘、性的問題、窃盗等)	0	1	2	3	4	5
5. 抑うつ傾向 (継続的な落ち込み、食欲不振、自殺念慮等)	0	1	2	3	4	5
6. 学習障害傾向 (特異的な読み書き・計算の問題)	0	1	2	3	4	5
7. 自傷行為 (抜毛、頭打、リストカット、自殺未遂等)	0	1	2	3	4	5
8. 集団不適応 (不登校、学校等でのいじめられ、孤立、反抗等)	0	1	2	3	4	5
9. 排泄問題 (夜尿、遺糞など)	0	1	2	3	4	5
10. 摂食障害傾向 (拒食、過食、異食など)	0	1	2	3	4	5
11. 睡眠問題 (不眠、過眠など)	0	1	2	3	4	5
12. 言語能力の発達遅延・障害	0	1	2	3	4	5
13. 知的障害	0	1	2	3	4	5
14. 施設内における他児へのいじめ	0	1	2	3	4	5
15. 施設内における他児からのいじめ	0	1	2	3	4	5

問 19 被虐待体験の有無

当該児童の入所前の被虐待体験有無を回答してください(現在認識しているものについて回答)

1. 有り	2. 疑い有り	3. 無し
-------	---------	-------

問 19-1 虐待の種類

〔被虐待体験有りの場合〕当該児童が虐待を受けた種類を以下の項目の中から選んでください(複数回答)

1. 身体的虐待	2. 性的虐待	3. ネグレクト	4. 心理的虐待	5. その他	6. 判断困難
----------	---------	----------	----------	--------	---------

問 20 定期的に通院している疾患、障害名および通院回数等

1. 無し				
2. 有り (以下にも回答してください)				
疾患名・障害名 ※記入要領参照	通院中の診療科 ※記入要領参照	通院回数 (過去1年当たり)	服薬状況	
[]		回	1. 有り	2. 無し
[]		回	1. 有り	2. 無し
[]		回	1. 有り	2. 無し

問 21 精神科への入院経験

1. 有り	2. 無し	3. 不明
-------	-------	-------

問 22 精神疾患・精神障害の状況

当該児童の精神障害の状況について、医師の診断、または疑いが有るが否かを回答してください。

1. 診断有り	2. 疑い有り	3. 無し
---------	---------	-------

問 22-1 精神疾患・精神障害の状況

【診断有り又は疑い有りの場合】当該児童の精神疾患・障害の状況について回答してください。

発達障害系	1. 確定診断有り	2. 疑い有り	3. 判断困難	※精神遅滞、学習障害、広汎性発達障害、発達性協調運動障害、コミュニケーション障害(音韻障害、吃音等)等
行動障害系	1. 確定診断有り	2. 疑い有り	3. 判断困難	※注意欠陥・多動性障害、行為障害、反抗挑戦性障害等
不安障害系	1. 確定診断有り	2. 疑い有り	3. 判断困難	※パニック障害、全般性不安障害、強迫性障害、外傷後ストレス障害、恐怖性障害、分離不安障害、反応性愛着障害、解離性障害、転位性障害、その他身体表現性障害等
気分障害系	1. 確定診断有り	2. 疑い有り	3. 判断困難	※大うつ病性障害、気分変調性障害、双極性障害等
その他の精神障害	1. 確定診断有り	2. 疑い有り	3. 判断困難	※摂食障害、排泄障害、選択性緘黙、常同運動障害、性障害及び性同一障害、睡眠障害、人格障害、統合失調症、その他の精神障害

問 23 当該児童の障害者手帳の所持状況

当該児童の障害者手帳所持の状況について、以下の設問に回答してください。

身体障害者手帳	1. 1級	2. 2級	3. 3～6級	4. 未判定(申請中)	5. 無し
療育手帳(知的障害者福祉手帳)	1. 重度	2. 中度	3. 軽度	4. 未判定(申請中)	5. 無し
精神障害者保健福祉手帳	1. 1級	2. 2級	3. 3～6級	4. 未判定(申請中)	5. 無し

※療育手帳の障害程度区分は自治体によって異なりますが、ここでは所持している場合には「重度、中度、軽度」の3区分とします。「最重度」区分が存在する場合は「重度」に含めてください。

問 24 家族への支援状況

当該児童の家族等に対する面接や家庭訪問など継続的な家族支援の状況について記入してください。

実施実績	1. 有り	2. 無し
------	-------	-------

問25 養育問題のある子どものためのチェックリスト (Checklist for Maltreated Infant-CMTI)

※年齢に応じたチェックリストを使用してください。

記入上の注意

以下の要領にしたがって質問紙に記入して下さい。

1. 各項目には選択肢が用意されていますが、当てはまる選択肢の番号に○をつけて下さい。

2. あまり多く読むが、普段の印象をお答え下さい。

3. 質問項目には全てお答え下さい。

問25 生後6か月から2歳未満児用

1. お子さんに以下のような状況が見られますか？年齢的にまだできないと思われる事柄については「n」とお答えください。

	無い	たまに有る	有る	よく有る	年齢的に不可能
1 ある特定の状況で、急に激しく泣くなど、表情や態度が変化することがある	1	2	3	4	n
2 些細なことでもびくびくして不安そうにする	1	2	3	4	n
3 急に泣き出して止まらなくなる	1	2	3	4	n
4 普通以上に怖がる特定の人や物や場面がある	1	2	3	4	n
5 夜泣きが激しい	1	2	3	4	n
6 感情の起伏が激しい	1	2	3	4	n
7 ひとりで遊んでいることが多い	1	2	3	4	n

以後の設問において、お子さんにとって特別な存在である大人(担当職員やその他職員)のことを「特別な大人」と称します。もしそのような「特別な大人」がいない場合には、担当職員を対象としてお答えください。

2. お子さんの普段の行動から以下のような様子が見られますか？

	無い	たまに有る	有る	よく有る	年齢的に不可能
8 表情が乏しい	1	2	3	4	n
9 大人と関わろうとしない	1	2	3	4	n
10 「特別な大人」に対していい子ぶる、外面がいい	1	2	3	4	n
11 生き生きとしている	4	3	2	1	n
12 友達と仲良く遊ぶ	4	3	2	1	n
13 慰められてもなかなか気持ちが落ち着かない	1	2	3	4	n
14 ちょっとしたことで怖がって自由に遊ばない	1	2	3	4	n
15 「特別な大人」に抱かれていても、遠くをボーッと見ている	1	2	3	4	n
16 突然固まって、ぼーとした表情をする	1	2	3	4	n
17 嫌なことがあったとき、怖い時、痛みを感じたときに、固まってしまったり、凍り付いてしまう	1	2	3	4	n
18 いつもいらいらしている	1	2	3	4	n

		無い	たまに有る	有る	よく有る	年齢的に不可能
19	遊びに集中できない	1	2	3	4	n
20	悲しそうにしている	1	2	3	4	n
21	笑顔が少ない	1	2	3	4	n
22	凍りついた目あるいはうつろな目をしている	1	2	3	4	n
23	大人がいても自分で危険な行動をとる	1	2	3	4	n

3. お子さんには次のようなことがありますか？

		無い	たまに有る	有る	よく有る	年齢的に不可能
24	人のものをとったりする	1	2	3	4	n
25	ぐずることが多い	1	2	3	4	n
26	床や壁に自分の頭を打ち付けることがある	1	2	3	4	n
27	すぐに激しい泣き方になる	1	2	3	4	n

問 25 2歳から6歳未満児用

1. お子さんに以下のような状況が見られますか？年齢的にまだできないと思われる事柄については「n」とお答えください。

		無い	たまに有る	有る	よく有る	年齢的に不可能
1.	ある特定の状況で、急に激しく泣くなど、表情や態度が変化することがある	1	2	3	4	n
2	ある特定の状況で、こちらとかかわらなくなってボーっとしていることがある	1	2	3	4	n
3	急に泣き出して止まらなくなる	1	2	3	4	n
4	親が「出来ていた」と言うことでも出来なくなっていることがある	1	2	3	4	n
5	寝つきが悪い	1	2	3	4	n
6	周囲に対して攻撃的である	1	2	3	4	n

以後の設問において、お子さんにとって特別な存在である大人(担当職員やその他職員)のことを「特別な大人」と称します。もしそのような「特別な大人」がいない場合には、担当職員を対象としてお答えください。

2. お子さんの普段の行動から以下のような様子が見られますか？

		無い	たまに有る	有る	よく有る	年齢的に不可能
7	表情が乏しい	1	2	3	4	n

	無い	たま に有 る	有る	よく 有る	年齢 的に 不可 能	
8	嫌なことがあったとき、怖い時、痛みを感じたときに、「特別な大人」に近づいて慰めを求めようとせず、固まってしまう	1	2	3	4	n
9	「特別な大人」に対していい子ぶる、外面がいい	1	2	3	4	n
10	危ないことを平気でする	1	2	3	4	n
11	表情が明るい	4	3	2	1	n
12	「特別な大人」の言うことを素直に聞く	4	3	2	1	n
13	慰められてもなかなか気持ちが落ち着かない	1	2	3	4	n
14	すぐに「特別な大人」に頼る	1	2	3	4	n
15	依存心が強い	1	2	3	4	n
16	大人に気に入られようと可愛い子ぶる	1	2	3	4	n
17	誰にでもべたべたしてくる	1	2	3	4	n
18	ちょっとしたことで怖がって自由に遊ばない	1	2	3	4	n
19	「特別な大人」に抱かれていても、遠くをぼーっと見ている	1	2	3	4	n
20	突然固まって、ぼーっとした表情をする	1	2	3	4	n
21	嫌なことがあったとき、怖い時、痛みを感じたときに、固まってしまうたり、凍り付いてしまう	1	2	3	4	n
22	「特別な大人」を困らせるような行動を多くとる	1	2	3	4	n
23	過度に警戒している	1	2	3	4	n
24	常に緊張している	1	2	3	4	n
25	いつもいらいらしている	1	2	3	4	n
26	遊びに集中できない	1	2	3	4	n
27	悲しそうにしている	1	2	3	4	n
28	笑顔が少ない	1	2	3	4	n
29	年齢不相応に動きが少ない	1	2	3	4	n
30	凍りついた目あるいはうつろな目をしている	1	2	3	4	n
31	目をあわせて笑いあうことが少ない	1	2	3	4	n
32	自分から甘えてくることが少ない	1	2	3	4	n
33	甘え方が下手である	1	2	3	4	n
34	次々に別の大人を求める	1	2	3	4	n
35	視線を合わせることが少ない	1	2	3	4	n
36	ちょっとしたことで固まってしまう	1	2	3	4	n
37	「特別な大人」を求めてくるがすぐに他に向かう	1	2	3	4	n
38	「特別な大人」を求めていながら、ちょっとした事で避けしてしまう	1	2	3	4	n

		無い	たまに有る	有る	よく有る	年齢的に不可能
39	ひとりの大人と集中して遊べない	1	2	3	4	n
40	特定の大人との強いかわりができない	1	2	3	4	n

3. お子さんには次のようなことが有りますが？

		無い	たまに有る	有る	よく有る	年齢的に不可能
41	人のものをとったりする	1	2	3	4	n
42	友達と仲良く遊ぶ	4	3	2	1	n
43	気分や感情が急に変わる	1	2	3	4	n
44	ミルクや食事の量や速度にムラがある	1	2	3	4	n
45	活動が激しい時と遅い(おとなしい)時があり、一定しない	1	2	3	4	n
46	興奮するととめることが出来ない	1	2	3	4	n
47	気に入らないと通常以上に激しく泣く	1	2	3	4	n
48	泣き出すとなかなか止まらない	1	2	3	4	n
49	ぐずることが多い	1	2	3	4	n
50	かんしゃくが多い	1	2	3	4	n
51	かっとなると暴力的になる	1	2	3	4	n
52	一つの行動から他の行動への切り替えがうまくいかない	1	2	3	4	n
53	大きな音を怖がる	1	2	3	4	n
54	大きな声で話す傾向がある	1	2	3	4	n
55	注射などを極端に嫌がる	1	2	3	4	n
56	転びやすい	1	2	3	4	n
57	不安定な場所を好む	1	2	3	4	n
58	ボール投げが年齢相応に出来ない	1	2	3	4	n
59	危険を顧みず、高いところに上ったり、飛び降りたりする	1	2	3	4	n
60	すぐに激しい泣き方になる	1	2	3	4	n
61	他人をもののように扱う	1	2	3	4	n
62	その場にあったことと表情が一致していない	1	2	3	4	n
63	友だちにやさしい	4	3	2	1	n
64	ルールが守れない	1	2	3	4	n
65	よくけんかをする	1	2	3	4	n

		無い	たまに有る	有る	よく有る	年齢的に不可能
66	友だちに暴力を振るう	1	2	3	4	n
67	人のものをもって自分のテリトリーにためておく	1	2	3	4	n
68	小さい子に暴力を振るう	1	2	3	4	n
69	大人の言うことにことごとく反抗する	1	2	3	4	n
70	他の子をいじめる	1	2	3	4	n
71	力の強い子に支配されやすい	1	2	3	4	n
72	想像力が豊かである	4	3	2	1	n
73	力の強い人と弱い人に対する態度が全く違う	1	2	3	4	n
74	年齢不相応に性的な言葉を発する	1	2	3	4	n
75	汚い言葉を多用する	1	2	3	4	n
76	ものの扱いが乱雑である	1	2	3	4	n
77	非常に衝動的な行動をする	1	2	3	4	n
78	ストーリーのある遊びができる	4	3	2	1	n
79	集中力がない	1	2	3	4	n
80	遊びが次々に変わる	1	2	3	4	n
81	ままごとを楽しくできる	4	3	2	1	n

IV. 児童のケアニーズ等

問26 ケアニーズの充足状況に関する評価

当該児童のケアニーズほどの程度充足されていると考えますが、現状の職員数や施設状況等といったサービス提供体制上の制約がないものとして評価してください(あてはまる番号)つは◎

充足されている	ほとんど充足されている	あまり充足されていない	充足されていない
4	3	2	1

※問26で2または1を選択した場合にのみお答えください。

問26-1 不足しているケアの内容

当該児童にとって不足しているケア内容として優先順位の高いものを3つまでお答えください。

- | | |
|--------------------------|-------------------------------|
| 1. 身の回りのケア | 2. 愛着形成、コミュニケーション |
| 3. 学習支援 | 4. 個別指導・面接 |
| 5. 専門的な心理ケア | 6. 専門的な医療ケア |
| 7. 自立支援に関するケア(就労、進学、自活等) | 8. 家族再統合に向けてのケアやファミリーソーシャルワーク |
| 9. 関係機関との連携 | 10. その他() |

問26-2 どのような環境が整えば当該児童のケアニーズに対する充足度を高めることができるとお考えですか。自由に記入してください(例:職員数の増加、職員のスキルアップ等)。

問27 睡眠の状況
(現在の状態を評価)

当該児童の最近1ヶ月間の睡眠の様子について、以下の各質問にお答えください。何か特別な理由で(例風邪にかかり体調が悪かったなど)、普段と様子が違っていた日ではなく、普段の生活を営むことのできた日の睡眠の様子についてお答えください。
※睡眠習慣について出来る限り実態を把握して回答してください(不明の欄へのチェックは極力避けてください)

1. 当該児童の寝つき習慣について、当てはまるものにチェックしてください。

	1. ほとんどいつも (5~7日/週)	2. ときどき (2~4日/週)	3. まれ (1日/週かそれ以下)	4. 無い又は年齢的に当てはまらない	5. 不明
寝る時刻になっても寢床に入るのを嫌がる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
一人で寝るのを嫌がる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
暗い部屋で寝るのを怖がる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
からだや頭を、揺すったり、リズムカルに動きながら寝つく(例: ベッドに頭をぶつけるなど) [具体的な記入:]	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
寝つくのに特別な物品、もしくは儀式が必要である(例: 特別な人形や毛布、指しゃぶりなど) [具体的に記入:]	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

2. 当該児童の睡眠中の行動について当てはまるものが有ればチェックしてください。

	1. ほとんどいつも (5~7日/週)	2. ときどき (2~4日/週)	3. まれ (1日/週かそれ以下)	4. 無い又は年齢的に当てはまらない	5. 不明
寝言を言う	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
おねしょをする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
夜泣きをする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
眠ったまま落ち着きなく体がよく動く	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
眠ったまま歩きだす、行動をする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
歯ぎしりをする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
眠っている間に体の一部がピクつく	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
大きないびきをか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
眠っている間に子供の息が止まっているように見える	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
眠っている間に子供の息が詰まりかけたり、息が荒くなる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
夜中に目を覚ますと、水分か食物をとらないと再び寝つけない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
夜中に叫び声を上げたり、汗をかいたり、慰めようもないほど泣きじゃくって目を覚ます	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
怖い夢を見る	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

3. 当該児童の朝の目覚めについて当てはまるものが有ればチェックしてください。

	1. ほとんどいつも (5~7日/週)	2. ときどき (2~4日/週)	3. まれ (1日/週かそれ以下)	4. 無い又は年齢的に当てはまらない	5. 不明
目が覚めるとき機嫌がわるい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
寢床からなかなか起き出せない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
はっきり目が覚めるまでに時間がかかる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
目覚める時刻が早過ぎる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
朝、食欲がない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

4. 当該児童の昼間の眠気について当てはまるものが有れば、 チェックしてください。

	1. ほとんどいつも (5~7日/週)	2. ときどき (2~4日/週)	3. まれ (1日/週かそれ以下)	4. ない又は年齢的に当てはまらない	5. 不明
とても眠そうにしている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
活動(食事や遊びなど)している最中にも突然眠ってしまう	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

5. 寝床に入る時刻(消灯時刻)を教えてください。

午後 () 時 () 分 不明

6. 寝床に入る時刻が、一番早い日と遅い日で1時間30分以上違いましたが、当てはまる方に チェックしてください。

はい いいえ 不明
 はい の場合 → 最大で () 時間 () 分 違った

7. 寝床に入ってから、寝つくまでに、平均してどれだけ時間がかかりますか。

() 時間 () 分 不明
 ● 1時間未満の場合には“() 時間”のところに“0”と記入してください。
 ● 例：午後8時30分頃に寝床に入り午後9時頃に寝つく場合 → 0時間30分)

8. 1晩に平均して何回、目を覚ましますか。

合計 () 回 不明
 ● いったん寝ついた後から、朝しっかり起きるまでの途中の目覚め回数です。

9. 8の質問でお答えいただいた夜間の目覚めの合計時間ほどのくらいですが。

合計 () 時間 () 分 不明
 ● 目を覚まさない場合には、「0時間0分」と記入してください。

10. 朝に目覚める平均時刻を教えてください。

午前 () 時 () 分 不明
 ● 寝床を離れる時刻ではなく、覚醒する時刻です。

11. 1日は平均して何回、お昼寝をしますか。

合計 () 回 不明

12. 11の質問でお答えいただいたお昼寝の合計時間はどのくらいですが。

合計 () 時間 () 分 不明
 ● お昼寝をしない場合には、「0時間0分」と記入してください。

アセスメント票の設問は以上です。タイムスタディデータの分析等において非常に貴重な資料となりますので各設問に記入漏れ、誤りがないか再度ご確認ください。
 調査にご協力いただき誠にありがとうございました。